

第60回 定時株主総会

2018年10月30日（火）

市場：東証JASDAQ
証券コード：3441

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー

株式会社 山王

株主のみなさまへお願い



会場内では、
スマートフォン・タブレット
など情報機器の電源をお切り
いただくか、
マナーモードにしてください。

会場内での
「喫煙」、「撮影」、
「録音」は ご遠慮ください。



入場票のご説明

- ご出席番号票は、株主総会終了までお持ち下さい。
- ご発言の際は、ご出席番号票に記載の番号とお名前をお申し出ください。
- 再入場の際は、ご出席番号票が必要となります。ご出席番号票を受付にてご提示下さい。

開 会

議決権数

2018年7月31日現在：発行済株式総数

5,000,000株

*** 自己株式384,050株含む**

本総会において議決権を有する株主数

3,342名

議決権数

46,147個



監査報告

取締役 常勤監査等委員 渡邊 和久

▶ 事業報告

1. 企業集団の現況に 関する事項

▶ 事業報告

1. 企業集団の現況に 関する事項

① 事業の経過及びその成果

世界：回復基調

- ▶ 米国： 好調な雇用情勢や減税効果等で
個人消費・設備投資ともに好調を維持
- ▶ 欧州： 雇用・所得環境の改善持続、好調な企業収益
個人消費・設備投資ともに堅調に推移
- ▶ 新興国： 中国で所得環境の改善、内需の堅調な拡大、
輸出の増加などで、安定した成長

+

日本：緩やかな回復基調続く

- ▶ 好調な企業収益を背景に雇用・所得関係が改善
- ▶ 個人消費が持ち直し、IoT化投資など設備投資も改善傾向
- ▶ 他方、深刻化する人手不足で今後経済活動が停滞する懸念

① 事業の経過及びその成果

当社グループが属する電子工業界 総じて好調な事業環境

- ▶ 車載・産業機器向け市場で部品需要の拡大が継続
 - ・ 自動車部品の電子化、工場のIoT化の進展
- ▶ 通信・民生品向け市場で新需要発生
 - ・ 高速伝送に対応した新製品対応

① 事業の経過及びその成果

当社グループの取り組み
**旺盛な部品需要に対応すべく、
積極的な営業活動に努める**



以下の重点課題に取り組む

- ▶ 受注多様化の推進
- ▶ 品質管理手法の向上
- ▶ 生産能力・生産性向上
- ▶ 海外子会社を含めた一体経営の推進
- ▶ 新規事業の立ち上げ

① 事業の経過及びその成果

売上高

8,380百万円

(前年同期比 : +14.5%)

営業利益

129百万円

(同上 : +1,456.8%)

経常利益

85百万円

(同上 : +260.9%)

親会社株主帰属
当期純利益

44百万円

(同上 : ▲35.3%)

1. 企業集団の現況に関する事項

3 ページ

- ② 設備投資の状況
- ③ 資金調達の状況

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 13



▶ (4) 対応すべき課題

(4) 対処すべき課題

当社グループの基本理念

「表面処理で社会のインフラを支え、
人々の暮らしの安全、便利な社会の実現に貢献する」



創業来培った表面処理加工業のノウハウ活かし、
お客様のご要望に対応、企業存在価値を高める

(4) 対処すべき課題

持続的な成長を果たしていくために

- ① 成長する市場・製品並びに未開拓市場の拡販
- ② 品質管理手法の向上
- ③ 生産能力と生産性の強化
- ④ 海外子会社を含めた一体経営の推進
- ⑤ 新規事業の立ち上げ

(4) 対処すべき課題

①「成長する市場・製品並びに未開拓市場の拡販」

受注の多様化

主軸のスマートフォンなどの情報通信機器分野

+

自動車分野や産業機械など様々な分野に

めっきの用途は拡大

積極的な設備投資と、成長・未開拓市場への拡販

当社創業来の表面処理加工技術を活用

受注の拡大

(4) 対処すべき課題

② 品質管理手法の向上

車載製品の管理をはじめ
品質管理の重要度は益々高まり、
業績への影響度合いも増加

電子機器の小型化・高機能化で
加工仕様の精細化
お客様からの品質要求が高度化



品質保証投資を更に進めることで、
安定的な品質を確保

(4) 対処すべき課題

③ 生産能力と生産性の強化

生産体制の整備

設備能力増強
省人化投資

+

時間あたりの
生産性向上

成長分野の受注拡大
長時間労働の削減

付加価値の高い効率的な仕事の継続実施

(4) 対処すべき課題

④ 海外子会社を含めた一体経営の推進

中国、フィリピンの海外生産拠点

- ▶ 国内同様の日本品質で事業展開
- ▶ 本社部門・国内生産部門の積極的支援、
一体経営の推進



事業環境や国民性などがもたらす
様々な課題を徐々に克服



生産性の向上＋収益性を高める

(4) 対処すべき課題

⑤ 新規事業の立ち上げ

事業化目指して開発中

「水素透過膜」 「銀めっきアクリル粒子」

2018年度再採択

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

福島再生可能エネルギー研究所

「被災地企業等再生可能エネルギー技術

シーズ開発・事業化支援事業」

(今回からコンソーシアム形式で事業化めざす)

特許取得による権利化完了
再生可能エネルギー分野への貢献含め
早期事業化を図る

今後とも変わらぬ
ご支援を賜りますよう
お願い申し上げます。

1. 企業集団の現況に関する事項

4～8ページ

- (2) 財産及び損益の状況の推移
- (3) 重要な親会社及び子会社の状況
- (5) 主要な事業内容
- (6) 主要な営業所及び工場
- (7) 使用人の状況
- (8) 主要な借入先の状況
- (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 23

2. 会社の現況

9～19ページ

- (1) 会社の株式に関する事項
- (2) 会社の新株予約権等に関する事項
- (3) 会社役員に関する事項
- (4) 会計監査人の状況
- (5) 業務の適正を確保するための体制
及び運用状況の概要

に関する各項目については

お手許の招集ご通知をご覧ください 24

▶ 第60期連結計算書類の 内容報告の件

貸借対照表（連結）①（資産・負債・純資産）

（単位：百万円）

科目	金額	科目	金額
流動資産	6,823	流動負債	2,896
固定資産	2,905	固定負債	1,850
有形固定資産	2,210	負債合計	4,747
無形固定資産	24	純資産合計	4,981
投資その他の資産	670		
資産合計	9,728	負債・純資産合計	9,728

（2018年7月31日現在）

貸借対照表（連結）②（純資産）

（単位：百万円）

科目	金額
株主資本	4,286
資本金	962
資本剰余金	870
利益剰余金	2,578
自己株式	△125
その他の包括利益累計額	694
その他有価証券評価差額金	176
為替換算調整勘定	514
純資産合計	4,981

（2018年7月31日現在）

損益計算書（連結）

（単位：百万円）

科目	金額
売上高	8,380
営業利益	129
経常利益	85
特別利益（投資有価証券売却益）	73
特別損失（固定資産除却損＋減損損失）	△86
税金等調整前当期純利益	71
法人税等＋法人税等調整額	27
親会社株主に帰属する当期純利益	44

（2017年8月1日から2018年7月31日まで）

連結株主資本等変動計算書

22ページをご覧ください。

お手許の招集ご通知をご覧ください 29

第60期計算書類（単体）

23～25ページをご覧ください。

お手許の招集ご通知をご覧ください 30

▶ 決算の状況と今後の方向性

2018年7月期業績ハイライト：

2期連続二けた増収、期初計画上回る増収増益

売上高83.8億円



+14.5%

前期同様、車載・産機機器向けから
通信・民生品分野まで積極受注

営業利益129百万円



+121百万円

国内採算性改善、中国黒字化で
大幅に改善

市場環境の好調続く中
積極受注・生産性改善で増収と原価率低下を実現
2期連続増収増益を達成

2019年7月期 業績見通し

堅調な事業環境の下、収益性改善に注力

▶ 売上高 : 85億円 (+1.4%)

▶ 営業利益 : 180百万円 (+39.5%)

▶ 当期純利益 : 130百万円 (+195.5%)

(単位：百万円)

	2018/7 実績	2019/7 計画	増減額	前期比 (%)
売上高	8,380	8,500	+120	+1.4%
営業利益	129	180	+51	+39.5%
経常利益	85	140	+55	+64.7%
親会社帰属 当期純利益	44	130	+86	+195.5%

山王の強みと課題

60余年の歴史で培われた
国内主要電子部品メーカーとの協力関係がある

取引量と実績

情報力

安定した技術にもとづく信頼性

環境対応などグローバルな高品質性

他方、最終ユーザーの需要動向に左右されやすい
取引量の安定化が課題

当面の戦略：成長と生産性向上

1. 事業規模拡大を最優先

成長する市場・製品および未開拓市場の拡販、特に安定かつ成長需要が見込める車載・産機分野に注力

2. 設備投資の継続と品質管理手法の向上

新製品・既存仕様品の拡販対応のため、
製造能力増加へ積極投資（量的拡大）

品質要求の高度化への対応と、安定品質の確保

3. 国内・海外連携の強化による生産性改善

本社部門の支援による海外子会社を含めた一体経営の推進
（質的改善）

国内の生産体制強化は順調に進捗

ライン改造、プレス増強等、受注体制を強化し売上を拡大

(福島県)
東北工場



+

新設備・改造

①量産加工体制強化

②高難度微細化対応

稼働率UP省人化投資と併せ生産能力増強

(神奈川県)

鈴川工場



秦野工場



資本（配当）政策について

当社の経営課題：企業価値の一層の向上

事業規模の拡大と安定したキャッシュフローの創出

2018年7月期：事業改革・組織体質強化で 増収増益を達成

2期連続黒字化で収益体質は安定化

事業規模拡大とキャッシュフロー創出力強化へ 内部留保確保と投資強化へ

▶ 2018年7月期：成長投資優先で「無配」

▶ 2019年7月期：現在のところ「無配」を予定



決議事項

議 案

取締役（監査等委員である取締役を除く）7名選任の件（再任）

1 こうやま ふみなり
 甲山 文成
 (現任)

3 みうら ひさし
 三浦 尚
 (現任)

5 あらまき たくや
 荒巻 拓也
 (現任)

7 はまぐち かずお
 浜口 和雄
 (現任)

2 すずき けいじ
 鈴木 啓治
 (現任)

4 てるい ひでき
 照井 英樹
 (現任)

6 いのうえ てつや
 井上 哲也
 (現任)

▶ ご発言・ご質問

お願い

- ご質問のある株主様は挙手いただき、指名されましたら左右いずれかのマイクにお進み頂きご質問ください。
- **ご出席番号票とお名前**をお知らせください。
- なるべく多くの株主様からご質問をいただきたく、関連質問も含めて**お一人様3問まで**のご質問でお願い致します。



議案採決

決議事項議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。） 7 名選任の件

閉 会

取締役のご紹介

第60回 定時株主総会

ありがとうございました。

これからも株式会社山王を引き続きご支援賜ります
ようお願い申し上げます。

市場：東証JASDAQ
証券コード：3441

貴金属表面処理加工分野の
リーディングカンパニー

株式会社 山王